

広報

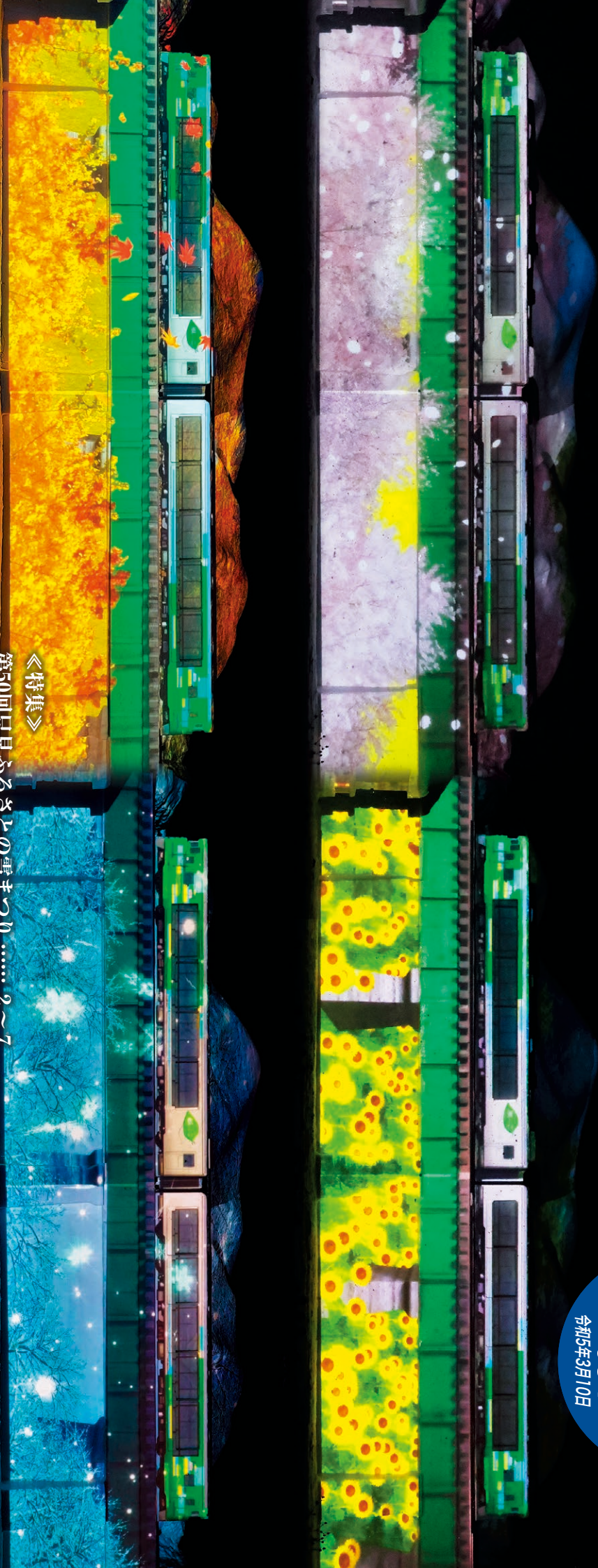
ただみ

3

2023 月号

No. 634

令和5年3月10日



第50回 只見ふるさとの雪まつり

【令和4年度「自然首都・只見」

学術調査研究成果発表会】開催 … 8～9

只見町アナ林グランド開発ワークショップ

…………… 10～11

只見町の健康課題 …………… 12～13

《News&Flash》 …………… 14

《町の話題》 …………… 15

《特集》

第50回只見ふるさとの雪まつり …… 2～7

今月の表紙

「大雪像プロジェクト全線再開を記念して、大雪像に

只見線のプロジェクションマッピングが行われました。只見町の四季を走り抜ける只見線に来場者は感動していました。（関連記事：P2～7）



3年ぶりの開催、天候にも恵まれ大盛況！

第50回

只見ふるさとの雪まつり

3年ぶりの
雪まつりは大盛況
前回を超える来場者数

只見町最大のイベント「第50回只見ふるさとの雪まつり」が、2月11日、12日（10日・前夜祭）に只見線広場で3年ぶりに開催され、前回開催よりも4,000人多い、延べ27,000人が来場しました。

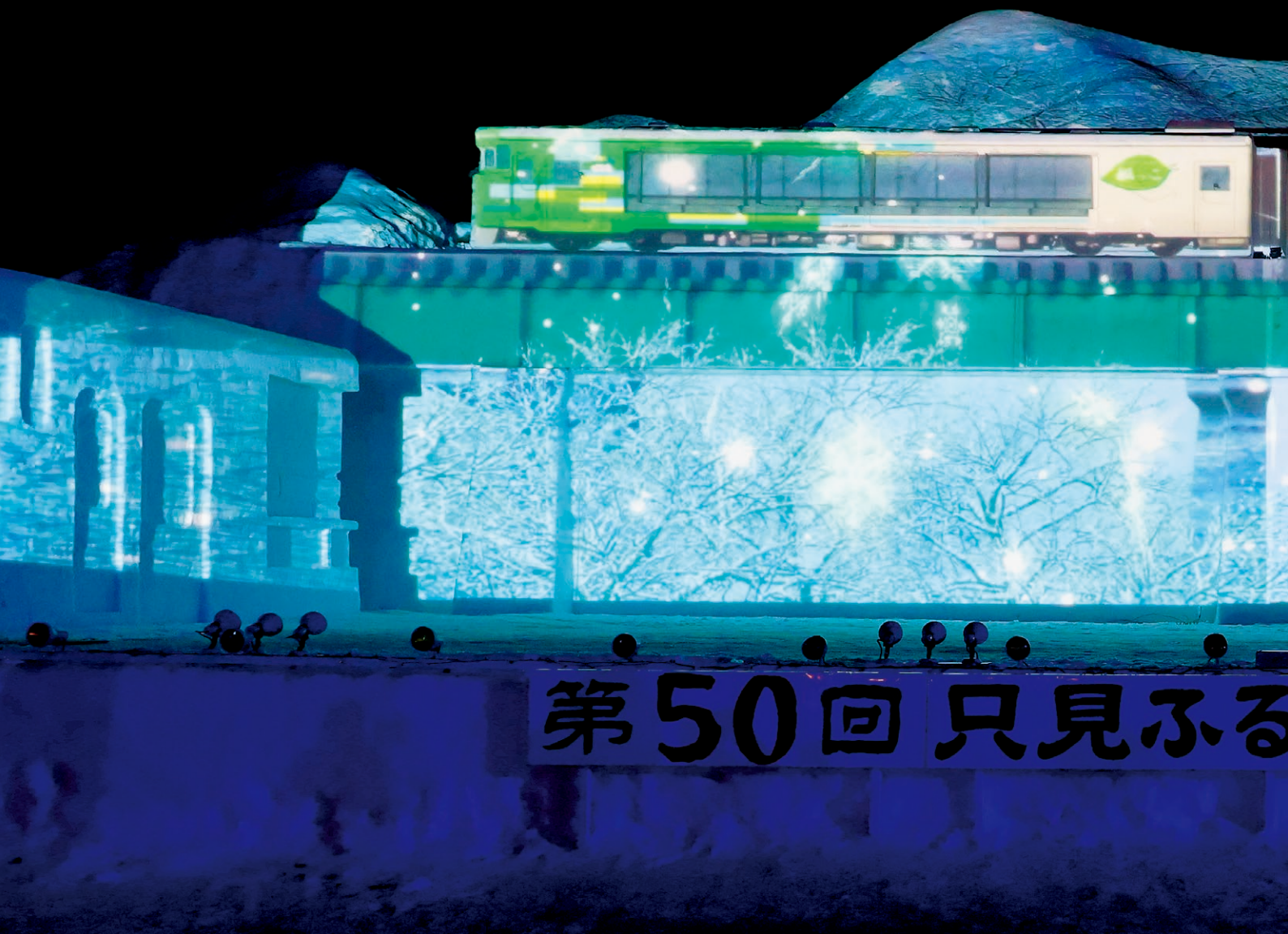
今年の大雪像は、昨年10月のJR只見線全線運転再開を記念し、叶津川橋梁とその上を走る只見線の列車をイメージして作製されました。作製には10トンダンプで1,000台分の雪が運ばれ、約1か月かけて作られました。完成した大雪像は、10日朝に引き渡し式が行われ、永洗建設株式会社から雪まつり実行委員会に引き渡されました。



1日目の芸能発表団体合同で披露した只見音頭



1日目、2日目ともに天気に恵まれました



会場内には、町内小中学校や商工会青年部、只見・朝日・明和駐在所連絡協議会、会場オペレーター（重機等運転手）の皆さんが雪像やかまくら、滑り台を作製し、来場者を出迎えました。

イベントでは、只見線に縁があるアーティストのショーや人気お笑い芸人による爆笑ライブ、地元団体の伝統芸能発表などが行われ、会場が賑わいました。

ゆきんこ市には14団体（組）が出店しました。やきとりやいちご飴などのお祭り定番メニューの他、「味付けマトンケバブ」や「南郷トマトマトンカレー」、「手打ちそば」など地元食材を使用したメニューが並び、来場者のお腹を満たしました。お食事の他にも、つる細工など伝統工芸や民芸品の販売が行われました。また、ふるさと交流都市の柏市や八十里越街道を通して交流がある三条市からもご参加いただきました。



10日朝に大雪像の引き渡し式が行われました



夜も多くの客足で賑わいました





第50回 只見ふるさとの雪まつり

鏡開きでお祝いし、雪まつりが開催しました

1日目は、鏡開きで開会のお祝いをした後、梁取太々神楽が披露されました。その後は町内の芸能団体による芸能発表やアーティストのライブが会場を盛り上げました。

夜には厄払いの儀やおんべ、プロジェクションマッピング、只見線全線運転再開を記念した祈願花火が会場を彩りました。

プロジェクションマッピングを雪像に投影するのは県内初で、来場者は「雪まつりの会場で只見線の四季を堪能できるとは思わず、とても感動しました」と話しました。



- | | |
|------------|------------|
| 1 梁取太々神楽 | 7 宏菜 |
| 2 只見つくし会 | 8 空野大 |
| 3 瞳の会 | 9 とよのみさこ |
| 4 はぎの会 | 10 奥山えいじ |
| 5 コーラスフルール | 11 長靴とばし大会 |
| 6 大竹涼華 | 12 厄男衆 |



2日目

Second day

2日目も晴天に恵まれ大盛況でした



1 暴太郎戦隊ドンブラザーズショー

2 小林早乙女踊り

3 大倉子供会による大倉八木節

4 ダンス&マイムコメディー GABEZ

5 カカロニ

6 カミナリ

7 あっけらかんマジックショー

8 ストラックアウト

9 天領只見仙巖太鼓

2日目は、ヒーローショー「暴太郎戦隊ドンブラザーズショー」からスタートし、多くの子どもがステージ前に集まりました。

郷土芸能発表では、小林早乙女や大倉子供会による大倉八木節が披露されました。

今年のお笑い芸人！爆笑ライブは、「カカロニ」のお2人と「カミナリ」のお2人が会場を沸かせました。

また、雪まつりではお馴染みの「GABEZ」のお2人は、マイムパフォーマンズで会場中を笑顔にしました。同じくお馴染みの「あっけらかん」のお2人は、マジック漫才で子どもも大人も関係なく心をわしづかみにしました。

夜には、雪まつりのクライマックスに向けて天領只見仙巖太鼓の皆さんによる力強い演奏が披露されました。





1 福もちまきでカミナリのサインをゲット 2 福もちまきでプナりんぬいぐるみをゲット 3 すべり台で遊ぶ子どもたち 4 只見中SDGs委員会による「雪壁に芸術家は現れるのか」 5 柏市ブースでは柏市産の野菜の販売などが行われました 6 三条市ブースでは、市名物カレーラーメンが来場者の冷えた体を温めました 7 電源開発(株)に作製いただいた入場門 8 厄男衆の体に触れるとその年1年は良いことがあるといわれています 9 お友達と一緒に記念撮影 10 只見線フォトフレームで記念撮影 11 イベントを待つ子どもたち 12 無災を祈る伝統「火の用心」 13 14 インフォメーションセンターには只見高校生が総合的な探究の時間で考案した商品が並びました 15 お客さんで賑わうゆきんこ市 16 雪むすめのお2人もお疲れ様でした 17 前夜祭はのど自慢たちによるカラオケ大会で会場に美声が響きました 18 前夜祭のプロジェクションマッピングは降る雪と相まって幻想的でした



ご来場いただいた皆様、
ご協力いただいた皆様、
ありがとうございました！

『令和4年度「自然首都・只見」 学術調査研究成果発表会』開催

『令和4年度「自然首都・只見」学術調査研究成果発表会』が1月29日に只見振興センターで開催され、町の助成を受けて調査研究を行った3組の研究者がその成果を発表しました。コロナ禍でインターネットなどを介したオンライン発表会が続いていましたが、今年度は3年ぶりに対面での開催が実現しました。発表会場には町内外から26人が訪れ、研究者の発表をじっくりと聞き、活発な質疑応答も行われました。発表終了後、紙谷ブナセンター館長から各研究への今後の発展への期待が述べられました。

本紙面では各調査研究の概要をご紹介します。



「只見町木ノ根沢における ゼンマイの分布と生活史」

武藤 実緒・木澤 遼（横浜国立大学大学院環境情報学府）
近藤 博史・酒井 暁子（横浜国立大学大学院環境情報研究院）



調査研究の背景と目的

ゼンマイは只見町を含む日本海側の豪雪地帯で多く採集されている山菜で、地域の文化や経済において重要でした。しかし、近年収穫量が減少し、生息地の情報等が失われつつあります。本研究は、ゼンマイの詳しい生態を調べ、持続可能な資源利用のための指標とすることを目的としました。

わかったこと1 ゼンマイの生育適地

ゼンマイの生育に適した環境条件を探るため、ドローンを用いて空から木ノ根沢流域を撮影、ゼンマイの分布を特定し、地形との関係を調べました。その結果、北向き急斜面下部域の微細な凹地形にゼンマイが多く生育していることが分かりました。ゼンマイは生育に水分を必要とするため、日陰で乾燥しにくい北向き斜面の水の溜まりやすい下部域や凹型地形が生育に適していると推測されます。

わかったこと2 ゼンマイの持続可能な採集活動のために

現地調査と統計的な手法を用いてゼンマイの生涯を通した生存率の変化、繁殖を始める年齢、寿命などを調べました。さらに採集活動がゼンマイの繁殖に与える影響を調べるために、採集者の協力を得て、ゼンマイの採集サイズを調べました。その結果、繁殖を開始する年齢は平均14.7年、採集対象のサイズに達する年齢は平均22.4年でした。したがって、ゼンマイは採集対象サイズに到達する前に繁殖を開始し、採集活動によって繁殖個体が採りつくされるリスクは低いと考えられました。ただし、採集する量が増え、現在よりも小さな個体も採集対象となった場合、繁殖個体がなくなる危険があります。また、採集対象となるまでに22年もの時間がかかり、ここまでの生存率も低いと、一旦、数が減ってしまうと資源量の回復には相当な時間がかかることも予測されました。

「ドローン空撮データによる 里山の資源量評価」

村上 拓彦・吉田 大智・稲月 理央（新潟大学）



調査研究の背景と目的

上空から得られる地上の情報は森林を管理する上で重要視されています。その情報収集には人工衛星や航空機が用いられてきましたが、ドローンの普及により、従来よりも空撮が容易になってきています。この研究では、ドローンによる空撮データを用いて里山の森林資源量の把握を試みました。

わかったこと 林況把握におけるドローンの有効性

通常、写真は中心から放射状に広がった像を写します。そのため、空撮写真では、現実には被写体の位置や大きさにズレが生じ、樹木のような背の高い撮影対象は、写真の中心から外側へ傾いて写ります（図1）。このままでは、森林の資源把握に用いることはできません。そこで、コンピュータで空撮写真を処理し、これらのズレと傾きが無い、地図のような画像に変換しました（図2）。この画像から、調査を行った区域のおおよその概況を把握することができました。また、画像データからスギ樹木の頂点を抽出することにより、上層木の本数を把握することができました。



「トチを食す ―トチと人との関わり―」

栗島 義明（明治大学黒耀石研究センター）



調査研究の背景と目的

ブナ林を構成する樹種のなかでもトチノキ（以下、トチ）は、古くから日本人の生活と深い係わりを持ってきました。人々は、縄文時代の前期からトチを加工して鉢や盆・皿などの生活容器を製作し、中期からはトチの実を食すようになっていました。トチの実を食べるにはアク抜き技術が不可欠ですが、どのような方法でアクを抜き、どんな食品に加工していたのかは不明な部分が多くあります。本研究では、トチの実の利用について只見町を中心に聞き取り調査を行いました。

わかったこと トチの食化の特徴

町内在住のトチ餅作り等でアク抜きを経験されている4人の方々に聞き取り調査を実施しました。加えて隣接する南会津町での聞き取り調査、並びに既報告のトチの実食に関する民俗資料についての様々な文献の確認をしました。聞き取りを行った4例で採集開始日の取り決め（山の口）や水漬け（虫殺し）工程は一致しなかった一方、不作時を想定した採集計画や囲炉裏上の火棚での乾燥・貯蔵、アク抜き後の煮崩しと布袋を使った絞りによる粉化などは一致し、只見の特徴と考えられました。また、アク抜きに用いる灰の由来やその扱いは他地域と類似しましたが、灰ではなく灰汁水を用いる珍しい事例も確認されました。

只見町域ではいずれもアク抜き処理後にトチを煮崩し、粉化させたうえで餅や粥と合わせて食化していました。只見地域では、シダミ（ナラの実）も食べられており、そのアク抜きは煮沸により軟化・潰しによる粉化、そして攪拌・沈殿による水晒ししたもので、トチの実の食化の最終工程と重複する部分が多く見られます。シダミを食する伝統は南会津地域を南限としているようであり、この地域のトチを食す伝統についてはシダミなど他の木の実食との関連性を視野に入れることが不可欠と考えられました。

持続可能な地域資源の利活用による地域振興を目指して

只見町ブナ林ブランド開発 ワークショップ



ユネスコエコパークに登録された只見町には、豪雪に育まれたブナ林が広がっています。これまでブナ林の保全を行いながら、ブナ林やその周辺に生育する植物を活用して、『自然首都・只見』伝承産品』などのブランド化を推進してきました。本年度は新たにブナ林に生育する多様な樹木を活用し、「食」の面からアプローチするワークショップを開催しました。

ブナ林には、オオバクロモジやアブラチャンという植物が生育しています。これらの植物は特有の良い香りを持ち、ポリフェノール等の機能性成分を含むことが、山口智子先生（新潟大学准教授）の研究で明らかになっています。

全3回にわたり開催されたワークショップでは、ブナ林の樹木について、その機能性に着目しつつ、葉や小枝等を使用した「只見町ブナ林ブランド」の商品開発を目指しました。

第1回は6月28日に開催され、紙谷智彦先生（只見町ブナセンター館長）を講師に「只見町ブナ林ブランド」の候補となる樹木の選定と見分け方を現地学びました。候補には、ブナやオ



▲樹木を観察する参加者

オバクロモジ、アブラチャン、キブシなどが選ばれました。

現地研修の後、山口先生の解説で、それぞれの樹木の持つポリフェノールや抗酸化性物質などの機能性や嗜好性について学び、採取した葉を使ったお茶の試飲を行いました。参加者は、樹木ごとに異なる風味に驚くとともに、商品化のための樹木葉の配合率や原材料の採集方法などを検討しました。「只見町にしか自生していないアカミノアブラチャンを使えないか」など、商品開発に向けた提案が出され、活発な意見交換が行われました。



▲採取した葉を使用した樹木茶

第2回目は9月26日に開催され、第1回で採集した樹木葉を使った試作品の試食会を行いました。試作品として、乾燥葉を



▲アブラチャンの葉を粉末にしたもの

使ったお茶や、葉の漬け込み酒、枝葉からおこした酵母を使用したパン、葉の粉末を練り込んだクッキー、煮出したお茶を使ったプリン、葉の酵素を使用した加者は味や食感の確認をしました。また乾燥葉を粉末にし、ポテトサラダなどの料理や風味塩に活用する方法も検討しました。

試食後は、実際に商品や食品にする際の許可制度など課題について話し合いました。



▲試作品を試食する参加者

第3回目は2月6日に開催され、新潟大学学生の二瓶真衣さんと阿部未侑さんが『只見町ブナ林ブランド』の開発に向けた広葉樹資源の機能性評価』をテーマに、只見町にのみ自生するアカミノアブラチャンの実についての研究結果を紹介しまし



▲風味塩と食材の組み合わせを確かめる参加者

た。その後、只見町に生育するブナやオオバクロモジなどの葉の粉末を使用した風味塩を地元食材と組み合わせ、試食を行いました。参加者は、味や香りを確かめ、新たにスパイスとしての活用方法も提案されるなど具体的な構想が話し合われました。また、商品化を検討しているブナ林ブランド茶については、葉の配合比を変えた2種類の樹木茶の試飲を行いました。



▲ブナ林に生育する樹木葉パウダーを使用した塩

只見町ブナ林ブレンドの ブレンド候補となる樹種

キブシ



オオバクロモジ



ブナ



アカミナブラチヤン



アカミナブラチヤン



広大なブナ林には多種多様な樹木が育まれています。持続的な利活用の可能性は無限大です！

今回のワークショップで 作成された試作品

葉の粉末を
練り込んだクッキー



葉からおこした
酵素を利用したドリンク



オオバクロモジの
生葉からおこした
酵母を使ったパン



ブナの実の
あめ漬け



ブナ林樹木のブレンド
で試作されたジン

葉の配合率を変えた
樹木茶の試飲



樹木葉パウダーを
混ぜこんだ塩と
地元食材をあわせた試食



樹木葉パウダーを
練り込んだきなこ棒



「ブナ林ブレンドワークショップ」が、地域資源の持続可能な利活用として、自然と人間が共生する只見ユネスコエコパークの新たな財産となるよう、ご協力をお願いします。



※アカミナブラチヤンについては町指定天然記念物指定の木ではなく、移植された木を使用しています。

只見町の健康課題

皆さんが受診している特定健診（メタボ健診）の結果は、加入している各医療保険を通じて健康課題の分析が行われています。只見町の健康課題は、メタボリックシンドロームです。BMIに比較して腹囲が大きく、内臓脂肪が蓄積されている、または内臓脂肪が蓄積されたまま四肢の筋肉が衰えてしまった方が多いのではないかと思います。

「体ががっしりして大きい」ととても力強い印象がありますが、それは筋肉や体力があり、健康的に見えることが大前提です。BMIが標準以下で筋力が無いと、疲れやすく体力がなくなってしまう、仕事や活動をするための持久力が欠けます。いきいきと活動力がある生活を送るには、「筋力の維持」や「体力維持」が重要です。

内臓脂肪の蓄積がもたらす弊害

平成20年から医療制度改革により、メタボ健診が各医療保険者に義務付けされました。特定健診では、腹囲を測定して内臓脂肪の蓄積を予測して生活習慣の改善を図るための保健指導が行われています。

内臓脂肪の蓄積により、アディポサイトカインと呼ばれる物質が合成・分泌され、血液中の糖質や脂質、血圧のコントロールなどに大きな影響を与えます。そのため、内臓脂肪が必要以上に増えると、次のようなさまざまな悪影響が出てきます。

インスリン抵抗性（インスリンの働きがよくない状態）を悪化させる。

血液中の糖質を増やし、
血糖値を上昇させる原因となる。

蓄積された脂肪が分解されて、
再び血液中に入りやすくなる。

血液中の中性脂肪や
コレステロールを増やす原因となる。

血圧を維持する物質の機能が低下し、
反対に上昇させる物質が分泌される。

血圧の上昇をまねく原因となる。

メタボリックシンドロームと肥満症

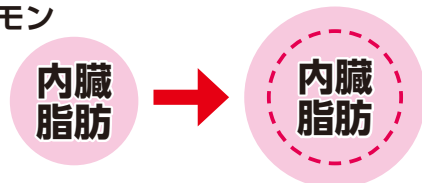
メタボリックシンドロームは内臓脂肪の過剰な蓄積に加え、血圧上昇、空腹時の高血糖、脂質の異常値などがみられる状態のことをいい、心筋梗塞などの原因となる**動脈硬化のリスクを高め**ます。

また、メタボリックシンドロームとよく似た病態に肥満症があります。肥満症とは体格指数（BMI）が25以上であり、かつ肥満が原因となる10の健康障害（耐糖能障害や2型糖尿病、脂質異常症など）のうち1つ以上がある場合と定義されます。

いずれも、重篤な健康問題を引き起こす可能性があります。

内臓脂肪細胞の巨大化が悪玉ホルモンを増やす！

内臓脂肪が巨大化すると増える
悪玉ホルモン



主な悪玉ホルモン

- 血圧を上げる……………アンジオテンシノーゲン
- 肝臓を悪くする……………TNF
- 動脈硬化を促進する……………HB-EGF
- 血栓を作りやすくする……………PAI-1
- インスリンの効きを悪くする…レジスチン

いったん内臓脂肪細胞に脂肪がたまりはじめると、さまざまな悪玉ホルモンが分泌されるようになります。この変化がメタボの元凶です。

内臓脂肪を減らすために

内臓脂肪は脂肪の中でも落ちやすいと言われています。筋肉を動かす時に内臓脂肪から使われていくため、運動し筋肉を動かしていると、内臓脂肪は自然に落ちていきます。

反対に筋肉を動かすことがないと内臓脂肪は蓄積していきます。そのため、体を動かすことや運動が嫌い、少しの距離でも歩きたくないという人は内臓脂肪が溜まりやすくなります。

適正体重を保つためには、運動することで筋肉量を増やし、より脂肪を燃焼させる必要があります。なお、筋肉量と耐脂肪のチェックには体組成計がオススメです。

アルコール摂取によるトレーニングへの影響

●筋肉をつくる働きが低下

アルコールの摂取によって筋肉が分解、減少してしまうという研究結果が出ています。他にもトレーニングの弊害にもなるともいわれています。

トレーニングを行うことで、「テストステロン」というホルモンが分泌されます。テストステロンは、摂取したたんぱく質を合成させ筋肉を作るという働きを持っていますが、アルコールを摂取することで分泌量が減少するといわれています。そのため、アルコールの過剰摂取は、トレーニングの効率を落とすことに繋がります。

●糖質・タンパク質の代謝の低下

アルコール成分は肝臓で分解・代謝されます。本来、肝臓は糖質やタンパク質の代謝を行っていますが、飲酒をすることでアルコール成分の代謝が行われ、他の成分の分解や代謝が遅れてしまいます。特にタンパク質は筋肉の増量に欠かすことができない成分のため、代謝が行われなければ筋肉の生成は行われないということになります。したがって、筋肉の増量を行う際は、トレーニング直後の飲酒を避けた方が良いです。

いいからだづくりプログラム

健康な体づくり、ご自身の理想的な体系、生活習慣の修正を目指して、12月から2月までに全5回のからだづくりのための教室を開催しました。参加者の皆さんは開始時の体重の3～5%の減量や筋肉アップを目標に楽しく参加しています。

教室では、体組成計による分析を行い筋肉と体脂肪、体を構成する成分を測定・確認しながら、食事と運動によって健康的な生活を目指しています。



認知症予防講演会

朝日診療所の山並寛明先生を講師に「認知症予防講演会」を2月21日に開催しました。頭と体と心を健康に、認知症になってもいきいきと過ごすためのアドバイスがありました。認知症にならないためには、からだづくりと同様に運動や減塩といった生活習慣を適正にし、血圧等の基礎疾患の管理や地域の人との交流が大切です。

ご心配な方はかかりつけ医にご相談をお願いします。また、認知症になっても安心して生活できる地域であることが重要です。認知症のことを地域ぐるみで学びましょう。



「定住者等の増加を図る 「沖2号住宅」完成

只見町での定住等の促進を目的とした「沖2号住宅」(只見字沖)が完成し、1月31日に事業者の積水ハウス株式会社から町へ引き渡されました。町内では初となる一括発注の住宅です。

間取りは1DKで1階部分は車庫(車1台分)となっています。

玄関は、ダブルロックや録画機能付きインターホンなどの防犯対策が施されています。また昇降式の室内洗濯物干しユニットや浴室乾燥機を備えるなど、機能が充実した住宅となっています。

なお、入居募集などについては町民生活課(82-5100)にお問い合わせください。



▲キッチンには、充実した収納と3個口IHクッキングヒーターなどを備えています

「只見線復興応援のために 合同会社メーデルリーフが寄附

合同会社メーデルリーフの目黒道人さん、三瓶彰治さん、原田郁子さんが、2月15日に寄附のために役場を訪問しました。

合同会社メーデルリーフは『鉄道風景画家「松本忠」只見線マグネットステッカー』などの只見線関連グッズを販売し、その売上から金13万3,380円を只見線の復興応援のため町に寄附されました。

寄附は、只見線復興のために有効に活用させていただきます。ありがとうございました。



▲合同会社メーデルリーフは、毎年、只見線復興のための寄附をされています

皆さんの交通安全への心がけが 表彰につながりました 「福島県交通対策 協議会長表彰」伝達

福島県と県交通対策協議会、県警察本部が主催する市町村別交通事故防止コンクールにおいて、只見町が「福島県交通対策協議会長表彰」に選ばれ、2月14日に伝達式が行われました。

伝達式では南会津地方交通対策協議会の深谷一夫会長(南会津地方振興局長)が「町民の皆さんと町や警察など関係機関が一丸となり積極的に交通安全対策に取り組まれた結果です。引き続きご協力をお願いします」とあいさつしました。



▲深谷会長から渡部町長(町交通安全対策協議会長)に伝達されました

関係人口の増大を目指す 淑徳大学と只見町 「観光まちづくり連携協定」締結

淑徳大学(千葉県千葉市)と只見町は、2月20日に「観光まちづくりに関する連携協定」を締結しました。本協定では、「町における淑徳大学の教育活動の実施に関すること」や「観光まちづくり・地方創生に資する協働事業に関すること」、「人的交流や研究交流、関係人口の増大に関すること」など7つの連携事項をあげており、町外の若い世代の視点、町の観光開発や地産地消メニュー開発などに繋がることを期待しています。



▲協定式は淑徳大学東京キャンパスで開かれ、山口学長と渡部町長が署名しました(写真提供:淑徳大学)

千葉県柏市と只見町の交流紹介

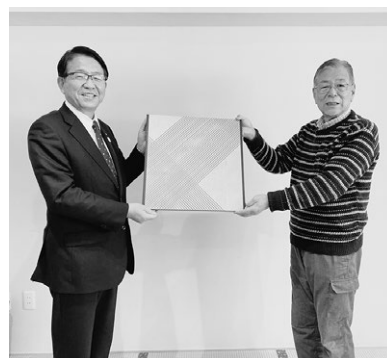
ふるさと交流都市柏市ブース設置

千葉県柏市と只見町の交流40周年の節目を記念して、町役場町下庁舎玄関のショーケースに柏市ブースが設置されました。

ブースには、交流の紹介パネルの他、柏市のサッカーチームである柏レイソルグッズや柏市産のものを生かした商品や工芸品が並べられています。同じく柏市は、市立図書館永楽台分館に只見町コーナーを設置しています。

ご来庁の際には、ぜひご覧いただき、柏市を身近に感じてください。

また雪まつりには、柏市との交流のきっかけとなった永楽台地域ふるさと協議会の皆さんが来町されました。その際に永楽台地域と只見町の交流40周年の記念品として加飾紙の壁飾り「金櫛引」が上田会長から渡部町長に贈呈されました。



▲役場に設置された柏市ブース(左)、上田会長から記念品が贈呈されました

100歳おめでとうございます

菊地イサヲさんに知事賀寿が伝達されました

菊地イサヲさん(梁取)が満100歳をむかえられ、知事賀寿贈呈式が1月30日に只見ホームで行われました。式では、渡部町長から賀寿状の伝達が行われた他、お祝いの品等が町議会や町社会福祉協議会、町老人クラブ連合会から贈呈されました。

長生きの秘訣は、昔は養蚕やリンドウ栽培などで体を動かしていたこと、今でも3食しっかりたべること、とのこと。

3食しっかり食べて、これからも長生きしてください。おめでとうございます。



▲賀寿をお祝いして、記念撮影をしました

鬼はそと、福はうち

かるがもクラブで豆まきを行いました



▲かるがもクラブに参加した皆さん

かるがもクラブで豆まきが2月3日に行われ、15組の親子が参加しました。

鬼が出てくると、子どもたちは、豆(豆に見立てたボール)を鬼に向かって投げました。出てきた鬼の迫力におどろき泣き出してしまいうちの子もいましたが、無事に鬼退治をしました。鬼退治後には、参加者におやつや手作りのバッグが配られました。

広報ただみ診療所

診療所の「看護・介護スタッフ」について
～お互い協力し、補い合っています

朝日診療所 看護師長 馬場 トシ子



早いもので、本年度もあと約1ヶ月となりました。

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」などと言われるように、毎日あっという間に過ぎてしまい時の流れの早さを実感しています

今回は、朝日診療所で看護・介護業務をしているスタッフについて書かせていただきます。現在、朝日診療所には16名の看護・介護スタッフがいます。皆さんは多いと思われるかもしれませんが、実際はギリギリでローテーション勤務をしています。そのうち60歳以上のスタッフが6名おり、豊富な経験と確かな技術、そして高いコミュニケーション力でさりげなくフォローしてくれるので頼もしい存在です。

「触ったら熱かったよ」「いつもと違うようだぞ」など、患者さんの一番身近にいる介護スタッフからの情報もとても役に立ちます。また、子育て世代のスタッフも、家族の協力もあり、勤務調整をしながら夜勤もしています。そして、外来と病棟の状況を把握しながら、お互いが協力し補い合って勤務をしています。

日本看護協会の調査によると、「出産・育児」を理由に退職する看護師が多いことが報告されています。また、地方では看護師不足が深刻な状況となっており、今後は、今以上にシニア世代の働く人の割合が高くなると思います。これらのことを踏まえ、体力面での不安やライフスタイルが変わっても働き続けられるよう雇用形態の多様化など、働きやすい環境づくりが必要だと感じています。

私たちは、地域の方々が安心して生活できるよう、必要な医療の提供に努めています。それらを今後も継続するためには、看護・介護スタッフの充実はかせません。地域医療に興味のある方、地域に密着した当診療所で働いてみたいと思われる方は、是非一度見学にいらしてください。お待ちしております。

まだ寒さが厳しく、雪の降る日もありますが、春に向かっていくことは間違いありません。コロナ禍を乗り越えて、以前のように会話を楽しみながら、「こんなことがあったね…こんな言葉がはやったね…」と思い出話に花を咲かせる日が早く来るといいですね。

地域おこし協力隊として Vol.99

只見町教育振興協力隊 はらなが まど か
原永 円香



只見町に来てから約1年が経ちました。大雪に怯えていましたが、例年よりはあまり降らなかったこともあり、何とか切り抜けることができそうです。

雪が降る前は、福島県内の行ったことのない地域を回りたいという一心で、車でいろいろなところへ行き、ほぼすべての市町村に行くことができました。フタバスズキリュウの産出地に行けたことは良い思い出です。

雪が降ってからは、遠出をする機会はめっきり減りました。一方で、1月、2月は町内のたくさんの行事を見に行く機会を得ることができました。「おんべ」はそのうちのひとつです。今年は、大倉、小林、二軒在家の3地域のおんべを見ることができました。「小林早乙女踊り・神楽」においては、当日だけではなく、練習から見学させていただくことが出来ました。学生時代に民俗芸能の授業を履修していましたが、その際に「小林早乙女踊り・神楽」の映像を見たことがあります。今回、その伝統芸能を練習からすべて見ることができ、本当にうれしかったです。神楽では、チャンガラと呼ばれている鉦を叩くという貴重な体験もしました。この場を借りて、小林早乙女保存会の皆様に感謝申し上げます。

来たばかりのころよりは、町の方たちと知り合う機会も増えており、うれしく思っています。1月31日からは勤務地である「ただみ・モノとくらしのミュージアム」で新しい展覧会が始まりました。ぜひお気軽にお越しください。

「只見ユネスコエコパーク」が描く 只見町の未来

14回目となる只見ユネスコエコパークの連載も今回で最後となります。なかなかわかりづらいエコパークの魅力を少しでも身近に感じていただけるように工夫してお伝えしたつもりではありますが、いかがだったでしょうか。最後に、ユネスコエコパークを進めていった後に、将来に只見町がこんな風になってくれれば、という一つの夢を描いてみたいと思います。

1. 只見町に暮らす私たちは、自然環境や野生生物を守りながら、それらを持続可能な形で利活用していくことを様々な場面で心がけています。また、これを実践してきた先人たちの知恵や文化（山菜・キノコのなどの食文化、編み組細工などの伝統工芸、早乙女踊りなどの伝統芸能、など）に学び、継承・発展させる地域活動が熱心に行われています。
2. 農業では、自然環境に配慮した農業水利施設が整備され、環境保全型農業推進の努力も相まって、只見町の農産物とその加工品は安心・安全、美味しい、環境にやさしいブランド品として広く認知され、多くのリピーターが定着しています。
3. 林業では、豪雪地に適応した管理技術が開発され、スギ林はブナなどの広葉樹林に転換されてきています。間伐材は薪にされ、ストーブやボイラーの燃料として地域内の低炭素社会や経済循環に貢献しています。スギやそのほかの多様な広葉樹の用材が揃う地域としても有名になっています。
4. 内水面漁業では、河川は川幅を広く保ち、多様な環境が創出される管理がされ、多くの魚が生息する遊漁のメッカとして賑わっています。
5. 加工業では、天然資源や農産物、伝統技術を活かした産品が開発され、地域資源の活用と伝統技術が確実に継承・発展し、町の人・自然・文化のストーリーが発信されています。一部の産品は産業化が図られ、新しい雇用の場も生まれています。伝統技術の継承を目指す移住者もあり、空き家の活用にもつながっています。飲食店、宿泊施設などでも地場のものが提供され、訪れる人たちを楽しませています。
6. 観光業では、只見町公認自然ガイドによるエコツアーが展開され、只見町の自然環境や伝統的な生活文化を学び、体験するツアーが好評です。また、教育機関の環境教育の場としても注目され、農家民泊などのグリーンツーリズムも定着し、自然や暮らしを活かした観光のブランドが確立しています。
7. 公共事業では、自然環境と生物多様性を守りつつ町民の生活向上を実現しており、先進的なモデルとして全国から評価され、注目を集めています。企業活動でも持続可能な発展を意識した活動が推進され、それに賛同する支援者が増え、好循環が生まれています。
8. 小中学校、高校では、町の自然や文化、歴史を活かしたESDが実践され、特色ある教育課程と都会にはない環境が子育て世代の移住につながっています。その中で育った子供たちは、つちかわれた経験や知識を活かして只見町の将来を担う活躍をし、あるいは、ほかの地域の発展にも貢献しています。
9. 只見町の自然や文化は、多くの研究者を魅了し、多様な調査研究が展開され、それらの成果は只見町の発展のために役立てられています。

こうした人間と自然との共生を実現する取り組みは、町内外で共有され、互いに連携し、ますます発展しています。この様子は世界へも発信・共有され、国際社会はそれを参考とした活動を行い、世界平和の輪が広がっています。只見町に暮らす私たちは、都市部にはない独自の価値観を築き、自信と誇りを持ち、充実と満足感のある暮らしをしています。

只見短歌会

令和五年二月詠草

昭和史の書籍本棚にかざり終へ一ページも読めず夫は逝きたり
馬場 八智

風よどに宿るが如く集まれり落葉は赤き色を保ちつ
目黒 富子

寒に入り寒さ冷たさ厳しかり太陽久し雲間に照りて
関谷登美子

「いってきます」に笑顔を返す幼児に泣いて欲しいとパパは思ふに
立花 奏音

東京に育ちし従姉は時をりに空襲の事長く語りぬ
新国由紀子

吹雪く日は外出控へ暖をとり揺れる窓辺に歌集読みあつ
渡部ヨリ子

ライターを初めて使ひ香点し振りて消しゐるを娘は笑ふ
新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

二月定例会

今日一日楽しく過ごそう吹雪中
睦子

冬晴やランラン気分で親子ぞり
紺青

ともしけりまわり消えたる雪を搔く
恒夫

区切りなき男の時間薪を足す
離農の戸増えたる村のどんどこかな
礼

愛日や祖母の大事な接ぎ座布団
料峭や紙屑黒く舞い上がる
一穂

譲られし優先席や年の暮
妹の術後の電話冬の虹
修一

今時はスマホ片手の受験生
子らの声空に吸われて春立ぬ
信

お年玉家族で座る朱い膳
それぞれに学校始めの子供かな
都

書の話して時忘る大晦日
子規の句を今年も書けり筆始
一恵

雛の娘を抱けば聞ゆる雛の声
弾みつつ今朝も門掃く春近し
真理子

今月のお知らせ

Information

お知らせ

自動車の移転(変更・抹消)登録

自動車税種別割は、4月1日(午
前零時)現在の登録名義人である所
有者に課税されますので、自動車の
売買や転居等をされた場合は次のこ
とにご注意ください。

○手放した自動車の納税通知書が届いた

自動車税種別割は、4月1日(午前
零時)現在の登録名義人である所有
者(割賦販売等で所有権が留保され
ている場合は使用者)に課税されま
すので、移転や抹消の手続きをしな
いと、もとの所有者に課税されます。
自動車を下取りに出したり、他人
に譲ったりしたときは、必ず運輸支
局で移転や抹消の手続きをしまし
よう。

電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
地域創生課	
創生企画係	
ユネスコエコパーク推進係	☎82-5220
町民生活課	
税 務 係	☎82-5110
町 民 係	☎82-5100
保健福祉課	
保 健 係	☎84-7005
福 祉 係	☎84-7010
農林建設課	
農 林 係	☎82-5230
建 設 係	☎82-5270
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
会 計 室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

で抹消の手続きをしましょう。

抹消された翌月から、月割で課税
されなくなります。既に年税額を納
めている場合には、抹消した翌月以
降の税金は還付されます。

※3月末までに抹消登録すれば、翌
年度は課税されません。

【問合せ先】

福島県南会津地方振興局県税部
☎0241-6215212

※登録に関する手続きは、運輸支局
や南会津自家用自動車組合、自動
車整備工場等にお尋ねください。

人事

町職員の退職のお知らせ

○退職(2月28日付)

▽農林建設課

運転手 三瓶 昌之

会津よつば農業協同組合から カーブミラーが寄贈されました



今回は積雪で見通しの悪い交差点などに設置していただきました

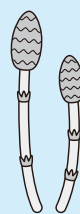
会津よつば農業協同
組合から町にカーブミ
ラー3基が寄贈されま
した。これはJA共済
の地域貢献活動の一環
として実施されている
ものです。

税 今月の納期

3月27日までに

納めましょう

●農集排使用料(3月分)





広報ただみ町長室

只見町長 渡部 勇夫

◆3年ぶりに「只見ふるさとの雪まつり」を開催することができました。

第50回という節目の雪まつりを町民の皆様や関係者の皆様はじめ、すべての皆様のご支援とご協力により開催させていただきました。改めまして、感謝申し上げます。

また、はじめての取り組みとなった「大雪像プロジェクト」は、天候にも恵まれ素晴らしい出来栄でした。

特に2日目の夜は、プロジェクトコンペに引き続き、花火と音楽のコラボレーションもあり幻想的な時が流れました。

そして、「ゆきんこ市」には町内の皆さんによるお店と共に、千葉県柏市と新潟県三条市からもお店していただきました。

3年後、国道289号八十里越が全通すれば、三条市との結びつきが、ふるさと交流都市である柏市とともに、より一層強くなります。

◆この度の両市からのご出店に感謝申し上げます。柏市の永楽台地域ふるさと協議会の皆様が雪まつりにお越しになり、お会いすることができました。

そして、その折に交流40周年の記念品として加飾紙の壁飾り「金櫛引」を協議会長の上田様からご寄贈いただきました。

ここ数年間、新型コロナウイルスの影響で交流が難しい期間が続きましたが、只見高校が甲子園に出場した際も甲子園球場まで只見高校応援の横断幕を持参され、応援してくださいました。再びお会いできた喜びを感じながら温かな時間を過ごさせていただきました。誠にありがとうございます。

そして、これからより一層、柏市と只見町の交流を深めていけるよう努めていきたいと心に強く思いました。

町長スケジュール〈2月分〉



- | | | | |
|-----|--|-----|---|
| 1日 | 教育委員辞令交付式、農業農村整備に関する予算説明会及び意見交換会（福島市） | 14日 | 優良市町村交通対策協議会長表彰伝達式、只見町の国民健康保険事業の運営に関する協議会、(株)ジェイアール東日本企画営業企画部長他来庁 |
| 2日 | 当初予算町長査定（～6日）、会津ネットワークフォーラム経営者会（会津若松市） | 15日 | 福島県立南会津病院長の人選に係る状況の確認（福島市） |
| 3日 | 南会津町議会全員協議会（南会津町） | 16日 | マタギサミットin只見代表来庁、東北電力(株)本店常務他来庁、只見高等学校振興対策協議会総会 |
| 6日 | 南郷トマト生産組合総会及び南郷トマト60周年記念大会・記念祝賀会（南会津町） | 17日 | 議会2月第2回会議、議会全員協議会、議案検討庁議 |
| 7日 | 南会津地方広域市町村圏組合管理者会、福島県土地連南会津支部通常総会、南会津地方町村会総会、南会津地方環境衛生組合管理者会（南会津町）、 | 20日 | 淑徳大学との観光まちづくりに関する連携協定締結式（東京都） |
| 9日 | 南会津地方町村議会議長会総会（南会津町） | 21日 | 只見川電源流域振興協議会定例総会、奥会津五町村活性化協議会定例総会（金山町） |
| 10日 | 只見ふるさとの雪まつり大雪像引き渡し式、入場門引き渡し式、議会2月会議、南会津建設事務所長他来庁、(株)シンク代表取締役社長他来庁、(株)ニッコトラスト代表取締役社長他来庁 | 22日 | 南会津地方環境衛生組合議会定例会、南会津地方広域市町村圏組合議会定例会、南会津地方広域市町村圏組合議会全員協議会 |
| 11日 | 只見ふるさとの雪まつり開会式 | 24日 | (一社)ふくしま市町村支援機構機構理事会（福島市） |
| 12日 | 柏市永楽台地域ふるさと協議会会長来庁 | 27日 | 南会津建設事務所管内地域課題検討会、百歳賀寿贈呈式、只見町空家等対策協議会 |
| 13日 | 南会津地方広域市町村圏組合消防本部 災害対応特殊救急自動車運用開始式（南会津町）、南会津農林事務所との意見交換会、只見高等学校訪問 | 28日 | 福島県町村会総会、只見町山村教育留学生送別式 |

町民の消息

(1月26日～2月25日届出分) 敬称略

■お誕生おめでとうございます

酒井 愛佳^{あい か} (女/修・あゆみ) 舘ノ川
馬場 友椿^{ゆ さ} (女/新樹・友梨) 蒲 生

■ご結婚おめでとうございます

大 倉 三瓶 志門♡鈴木 美結 小 林

■おくやみ申し上げます

齋 藤 昭 美	95歳	亀 岡
吉 田 八重子	87歳	只 見
佐 藤 富 一	86歳	黒 沢
矢 沢 宏 江	83歳	塩ノ岐
目 黒 重 雄	103歳	塩ノ岐
鈴 木 クニエ	83歳	只 見
小 沼 征 子	81歳	黒 谷
田 中 定 好	96歳	蒲 生

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和5年2月1日現在

人 口	3,801 (-9)
男	1,885 (-6)
女	1,916 (-3)
世 帯 数	1,582 (-3)
高齢化率	48.7%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 4 転出 9 出生 2 死亡 6

▽3年ぶりの雪まつりは皆様のおかげをもちまして、大盛況のうち無事に終えることができました。ありがとうございます。今回の特集では、写真を多めに掲載しておりますので、ゆつくりとご覧いただければと思います。

▽日が少しずつ長くなり、春が近づいてきている気がします。山菜などが出てきたり、動物たちが出てきたりと、冬とは違った楽しみが出てきますね。

(小林)

あとがき

朝日振興センター 図書紹介

朝日振興センター図書室
☎84-2111

おすすめ新着図書

★日々臆測



ヨシタケシンスケ

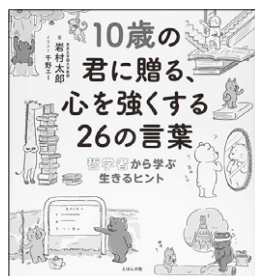
(光村図書出版)

みだれとべ! 臆測!
さえわたれ! 臆測!
ヨシタケシンスケはその日、何を見て、何を思ったのか。その記録。
「臆測でものを言うな」。
大人の世界では、よく言わ

れる言葉です。まったくその通りだと思います。しかし、そんなことがよく言われる必要があるくらい、世の中は臆測で満たされているのかもしれませんが。——本書「はじめに」より

絵と文で綴られた臆測の記録90話と、小さいお話たちをまとめた一冊です。

★10歳の君に贈る、心を強くする26の言葉



岩村太郎 (えほんの杜)

「どうして勉強しなければいけないの?」
「どうしていじめはなくなるの?」
「生きている意味はあるの?」

学校の先生や親がなかなか答えられない、子どもが抱えるリアルな悩みや疑問を、哲学者の言葉をヒントに解決。

哲学を通して子どもの考える力を育てる一冊です。

○朝日振興センターではリクエストを随時受付しています。読んでみたい本があれば、ぜひリクエストしてください。

町民憲章

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

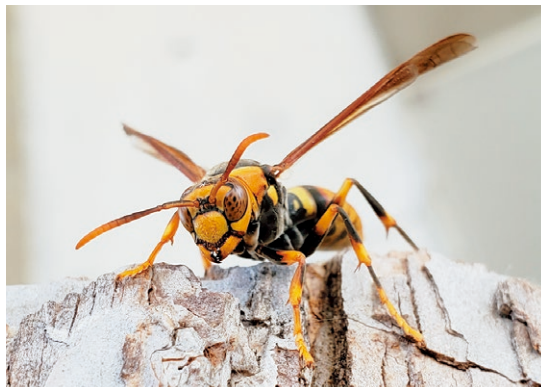


キアシナガバチ

(学名：Polistes rothneyi)

【ハチ目スズメバチ科】

(写真・文 吉岡義雄)



▲ 発達した大顎で獲物を噛み砕き、団子状にして巣に持ち帰る



▲ キアシナガバチの識別点は、前伸腹節（白○内）の黄紋。セグロアシナガバチはこの部位が黒色

キアシナガバチは、近縁なセグロアシナガバチと並び、日本のアシナガバチ類の中では最大です。この2種は非常によく似ていますが、前伸腹節に一对の縦線状の黄紋があるかどうかで見分けることができ（写真右）、この有無がそれぞれの種の和名の由来にもなっています。生態もよく似ていますが、セグロアシナガバチは平地、本種は低山地を好む傾向があります。比較的攻撃性が強く、人家や畑地にも好んで営巣するため、人が刺される危険が大きい種です。

秋にオスと交尾した新女王は、樹洞や石の隙間などで越冬し、早ければ翌年の3月下旬に活動を再開します。越冬するのは新女王のみであるため、働きバチが羽化するまでは、営巣から狩り、産卵、そして幼虫への給餌も全て女王が単独で行います。働きバチが羽化すると、それまで女王がこなしていた仕事の多くを働きバチが担うようになります。秋になると次世代を担う新女王と雄バチが羽化し、交尾を行います。女王は秋には寿命を迎えるため、コロニーが年を越えることはありません。

アシナガバチ類は毒針で人を刺す衛生害虫であると同時に、チョウ目の幼虫（芋虫）のような野菜を食べる農業害虫の天敵でもあります。そのため、適切な距離を保って共存することが望ましい昆虫です。とは言え、家屋の軒下や外壁、農道沿いなど、人通りの多い場所に営巣された巣は駆除すると良いでしょう。駆除は働きバチが羽化する初夏までに行うと比較的安全です。

只見町ブナセンターからのお知らせ

「ただみ・ブナと川のミュージアム」では下記企画展を開催中です。
皆様のお越しをお待ちしております。

企画展「自然素材を活かす技

～木地、編み組、草木染めと伝承製品の魅力～

会 期：2022年10月29日(土)～2023年3月27日(月)

場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー